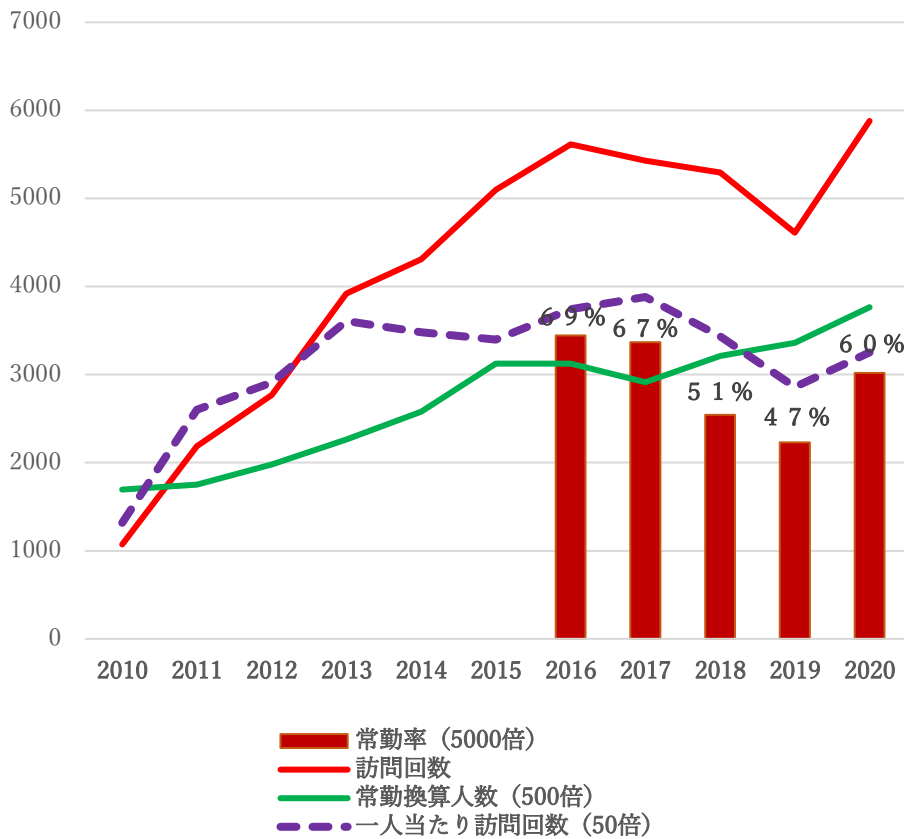


<全体の状況>

訪問看護状況

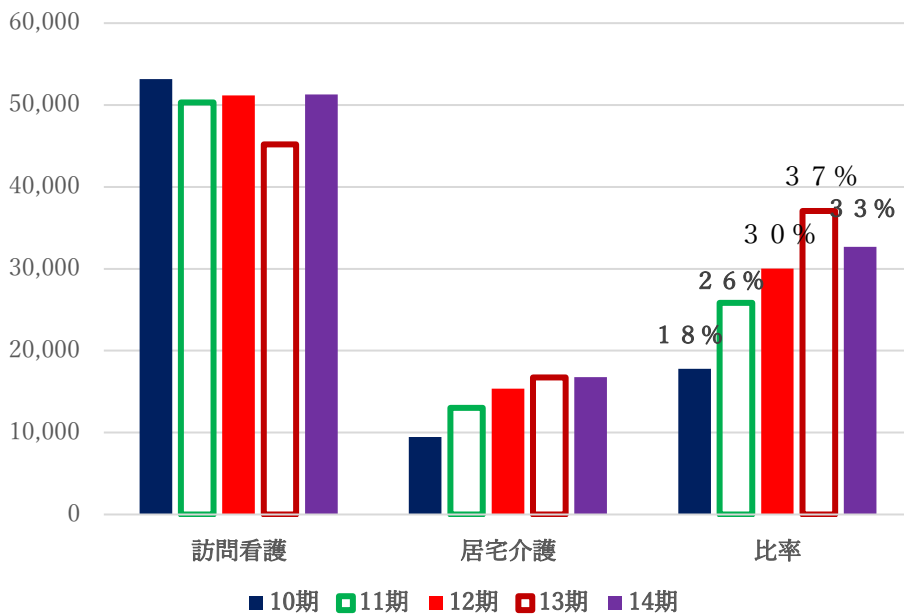


*訪問看護の回復・・・今年は過去最高となる見通し（2020年は9月段階の予想値）

*一人当たり訪問回数は2012年レベルまで回復している

（このグラフの数値はカレンダー一年）

事業別収益

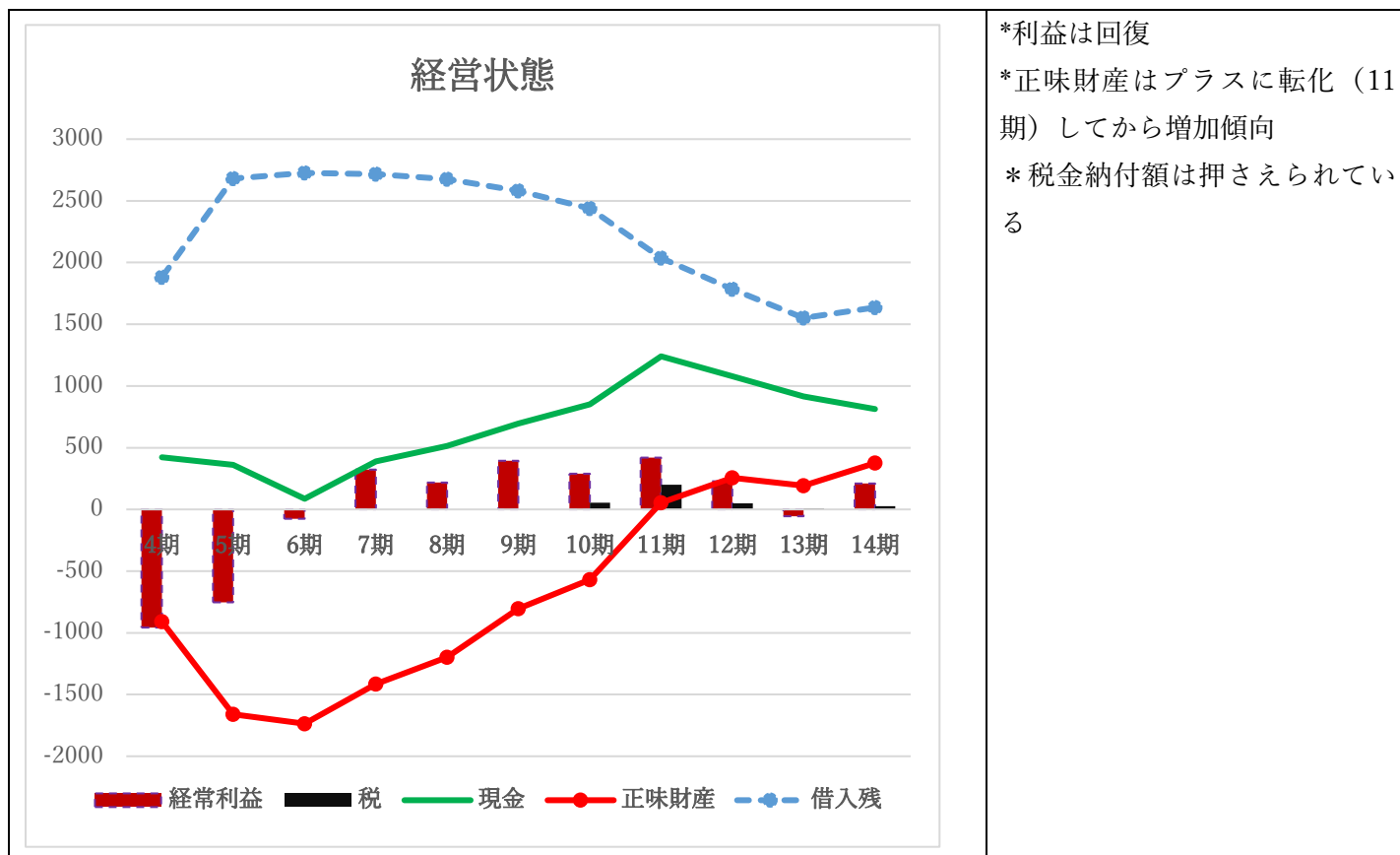


*看護の収益はここ数年5000万円台で変わっていない

*去年の落ち込みから回復しさらに伸びる勢い

*居宅は確実に増収傾向

*訪問看護に対する居宅の比率も上昇



*利益は回復
 *正味財産はプラスに転化（11期）してから増加傾向
 *税金納付額は押さえられている

<昨年1年のまとめ>・・・10年目に迎えた経営危機からの回復・立ち直り

- <危機の3兆候>
- 1、訪問看護訪問回数の落ち込みが最も大きな原因となって、6年ぶりの赤字転落
 - 2、1の原因は、ステーション数増加を背景にして、常勤数減少、要員体制の不安定化
 - 3、経営管理の弱さ・対応の遅れ

ちょうど1年前から、立ちなおしに取り組んできた

経営管理体制強化をまず行い、今年春から、看護師常勤5人体制をとって、24時間サービス体制継続を図った。

結果は、訪問回数回復、売り上げ回復（6、7月から最高売上記録更新）となって表れている。

全体として、職員の努力と協力で、良い方向に回転しだしている状況。これを好機としてとらえて、事業運営体制を落ち着いて改革していくようにしていきたい。